

Ⅲ 特殊分類別（財別）鉱工業生産及び生産者製品在庫の動き

（表5、表6）

1 最終需要財

8年の県内最終需要財の生産指数は81.8で、対前年比9.0%増加した。一方、在庫指数は88.2で、対前年比△9.3%減少した。

1-1 投資財

8年の県内投資財の生産指数は93.4で対前年比5.8%増加した。一方、在庫指数は97.9で対前年比△7.1%減少した。

1-1-1 資本財

8年の県内資本財の生産指数は99.6で、対前年比11.2%増加した。四半期別にみると、1～3月期は95.7（対前期比9.2%増）、4～6月期は98.6（同2.9%増）、7～9月期は101.7（同3.2%増）、10～12月期は102.9（同1.2%増）と4期連続増加した。

一方、在庫指数の年平均は126.6で、対前年比△1.1%減少した。これを四半期別にみると、1～3月期は141.6（対前期比23.4%増）、4～6月期は128.4（同9.3%減）、7～9月期は122.5（同4.6%減）、10～12月期は114.2（同6.7%減）と3期連続減少した。

1-1-2 建設財

8年の県内建設財の生産指数は84.6で、対前年比△2.1%減少した。四半期別にみると、1～3月期は95.8（対前期比22.1%増）、4～6月期は78.0（同18.6%減）、7～9月期は85.4（同9.5%増）、10～12月期は78.5（同8.1%減）と増減を繰り返した。

一方、在庫指数の年平均は67.4で、対前年比△17.2%減少した。これを四半期別にみると、1～3月期は70.3（対前期比6.1%減）、4～6月期は67.2（同4.4%減）、7～9月期は66.9（同0.4%減）、10～12月期は65.2（同2.6%減）と4期連続減少した。

1-2 消費財

8年の県内消費財の生産指数は89.5で、対前年比14.2%増加した。一方、在庫指数は70.3で、対前年比△14.4%減少した。

1-2-1 耐久消費財

8年の県内耐久消費財の生産指数は84.8で、対前年比20.3%増加した。四半期別にみると、1～3月期は66.4（対前期比4.3%増）、4～6月期は77.1（同16.1%増）、7～9月期は95.0（同23.2%増）、10～12月期は98.8（同4.0%増）と4期連続増加した。

一方、在庫指数の年平均は46.6で、対前年比△18.8%減少した。これを四半期別にみると、1～3月期は56.6（対前期比8.4%増）、4～6月期は53.2（同5.9%減）、7～9月期は45.3（同15.0%減）、10～12月期は37.5（同17.1%減）と3期連続減少した。

1-2-2 非耐久消費財

8年の県内非耐久消費財の生産指数は99.5で、対前年比4.7%増加した。四半期別にみると、1～3月期は93.6（対前期比3.9%減）、4～6月期は96.7（同3.3%増）、7～9月期は105.7（同9.4%増）、10～12月期は102.4（同3.1%減）と増減を繰り返した。

一方、在庫指数の年平均は91.1で、対前年比△12.3%減少した。これを四半期別にみると、1～3月期は107.5（対前期比19.3%増）、4～6月期は94.8（同11.8%減）、7～9月期は92.6（同2.3%減）、10～12月期は76.0（同18.0%減）と3期連続減少した。

2 生産財

8年の県内生産財の生産指数は96.6で、対前年比0.7%増加した。一方、在庫指数は116.8で、対前年比7.8%増加した。

2-1 鉱工業用生産財

8年の県内鉱工業用生産財の生産指数は95.8で、対前年比0.8%増加した。四半期別にみると、1～3月期は95.6（対前期比2.4%増）、4～6月期は93.7（同2.0%減）、7～9月期は96.8（同3.3%増）、10～12月期は97.2（同0.4%増）となった。

一方、在庫指数の年平均は117.5で、対前年比7.7%増加した。これを四半期別にみると、1～3月期は112.9（対前期比1.8%減）、4～6月期は118.6（同5.0%増）、7～9月期は121.0（同2.1%増）、10～12月期は117.8（同2.6%減）となった。

2-2 その他用生産財

8年の県内その他用生産財の生産指数は116.4で、対前年比△1.6%減少した。四半期別にみると、1～3月期は118.4（対前期比3.4%増）、4～6月期は119.3（同0.8%増）、7～9月期は124.0（同3.9%増）、10～12月期は104.3（同15.8%減）と3期連続増加したのち減少した。

一方、在庫指数の年平均は104.4で、対前年比9.5%増加した。これを四半期別にみると、1～3月期は96.3（対前期比2.7%増）、4～6月期は101.2（同5.1%増）、7～9月期は112.4（同11.1%増）、10～12月期は107.7（同4.1%減）と3期連続増加したのち減少した。



「季節調整」とは？…1

指数には「原指数」と「季節調整済指数」の2種類がある事にお気づきでしょうか？

よく、「ニッパチ」といわれる2月、8月は勤務日数が少なかったり、お盆休みがあったりで、生産が低下するといわれていますが、それは本当に生産が下がったと考えて良いのでしょうか？

鉱工業の生産は、社会的慣習等によって1年を周期として季節的に変動をします。ですから、毎年8月にお盆休みがあり、生産が低下したからといって、必ずしも生産が不調という事はできません。また、前月との比較、四半期ごとの比較を行なう場合には、そのような季節要因をとり除く必要があります。